

科目名 「 小児歯科学 」

学年	学期	科目責任者
2	前学期	清水 武彦
科目ナンバリング	C-7-④-I-08	
単位数	1	
学修目標 (G I O)	小児歯科学は他の学科目と異にし包括歯科医療を行い、多岐に亘る知識と他科との相互理解を必要とする。小児歯科診療に求められる歯科衛生士業務を実践できるようになるために、予防教育および包括的な診療補助について理解する。	
担当教員	*清水 武彦、*伊藤 龍朗、*小川 奈保	
教科書	「歯科衛生士講座 小児歯科学 新谷誠康 他 永末書店」、プリント配布	
参考図書	「小児の口腔科学 第5版 朝田芳信 他 学建書院」	
評価方法 (E V)	前期期間最後に行う平常試験 (90%) と講義中の態度 (10%) によって総合的に評価する。なお、60点に到達しない場合には、追再試験期間に全範囲における再試験を行う。	
学生へのメッセージ オフィスアワー	治療内容により細分化された他科とは異なり、「小児歯科」という形で時間軸によって分類された特殊な科目です。そのため包括的な歯科医療の知識が必要となり、予習・復習が欠かせません。歯科医師の実務経験を活かして、実務と学理の両面から、小児歯科学をわかりやすく解説し、小児歯科診療を実践するための知識・技能・態度の修得を目指し、積極的に学びましょう。	

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 4/7	小児歯科学概論	<p>【授業の一般目標】 小児歯科における衛生士業務を行うために、小児と歯科医療について理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 小児歯科学とはどのような学問であり、臨床であるかを説明できる。 2. 小児歯科の目的を説明できる。 3. 発達過程と口腔の変化を説明できる。 4. 小児歯科と歯科衛生士の役割について説明できる。 <p>【準備学修項目・時間】 予習時間：30分、予習内容：小児歯科学概論 復習時間：30分、復習内容：小児歯科学概論</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p>	*清水武彦

<p>第2回 4/14</p>	<p>小児の発育1 I 心身の発育</p>	<p>【授業の一般目標】 小児歯科における衛生士業務を行うために、心身の発育について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 1. 発育の概念と分類および発育状態評価を説明できる。 2. 生理的年齢を説明できる。 3. 器官の発育および精神発達を説明できる。 4. 小児の生理的特徴を説明できる。 【準備学修項目・時間】 予習時間：30分、予習内容：心身の発育、小児の生理的特徴 復習時間：30分、復習内容：心身の発育、小児の生理的特徴 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義</p>	<p>*清水武彦</p>
<p>第3回 4/21</p>	<p>小児の発育2 II 歯の発育と異常 III 歯列・咬合の発育と異常</p>	<p>【授業の一般目標】 小児歯科における衛生士業務を行うために、歯・歯列・咬合の発育と異常について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 1. 歯の発育段階について説明できる。 2. 歯の発育時期と形成障害を説明できる。 3. 歯の萌出とその異常を説明できる。 4. 歯列および咬合の異常を説明できる。 【準備学修項目・時間】 予習時間：30分、予習内容：顔面頭蓋の発育、歯の発育とその異常 復習時間：30分、復習内容：顔面頭蓋の発育、歯の発育とその異常 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義</p>	<p>*清水武彦</p>
<p>第4回 4/28</p>	<p>乳歯・永久歯の特徴と齲蝕</p>	<p>【授業の一般目標】 小児歯科における衛生士業務を行うために、乳歯・永久歯の特徴と齲蝕について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 1. 乳歯の解剖学的特徴と齲蝕を説明できる。 2. 幼若永久歯の解剖学的特徴と齲蝕を説明できる。 【準備学修項目・時間】 予習時間：30分、予習内容：歯の発育とその異常、小児にみられる齲蝕 復習時間：30分、復習内容：歯の発育とその異常、小児にみられる齲蝕 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義</p>	<p>*小川奈保</p>

<p>第5回 5/12</p>	<p>診療補助1 診療補助と歯科衛生士</p>	<p>【授業の一般目標】 小児歯科における衛生士業務を行うために、診療補助の原則について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 1. 小児歯科治療における原則を説明できる。 2. 診察・検査・診断について説明できる。 3. 小児歯科における麻酔法を説明できる。 【準備学修項目・時間】 予習時間：30分、予習内容：小児歯科における診療体系 復習時間：30分、復習内容：小児歯科における診療体系 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義</p>	<p>*小川奈保</p>
<p>第6回 5/19</p>	<p>診療補助2 保存修復</p>	<p>【授業の一般目標】 小児歯科における衛生士業務を行うために、小児の保存修復について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 1. ラバーダム防湿について説明できる。 2. 小児の歯冠修復法を説明できる。 【準備学修項目・時間】 予習時間：30分、予習内容：保存修復 復習時間：30分、復習内容：保存修復 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義</p>	<p>*小川奈保</p>
<p>第7回 5/26</p>	<p>診療補助3 歯内療法</p>	<p>【授業の一般目標】 小児歯科における衛生士業務を行うために、小児の歯内療法について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 1. 乳歯の歯内療法を説明できる。 2. 幼若永久歯の歯内療法を説明できる。 【準備学修項目・時間】 予習時間：30分、予習内容：歯内療法 復習時間：30分、復習内容：歯内療法 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義</p>	<p>*小川奈保</p>
<p>第8回 6/2</p>	<p>小児の歯周疾患・ 軟組織疾患</p>	<p>【授業の一般目標】 小児歯科における衛生士業務を行うために、小児の歯周疾患・軟組織疾患について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 1. 小児にみられる歯周疾患を説明できる。 2. 小児にみられる口腔軟組織の異常と疾患を説明できる。 【準備学修項目・時間】 予習時間：30分、予習内容：小児の歯科疾患 復習時間：30分、復習内容：小児の歯科疾患 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義</p>	<p>*伊藤龍朗</p>

<p>第9回 6/9</p>	<p>診療補助4 外科処置</p>	<p>【授業の一般目標】 小児歯科における衛生士業務を行うために、小児の外科処置について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 1. 乳歯抜歯の適応症を説明できる。 2. 乳歯・幼若永久歯の外傷を説明できる。 3. 小児に対する薬物処方と薬物療法を説明できる。 【準備学修項目・時間】 予習時間：30分、予習内容：小児の外科的処置，外傷の処置 復習時間：30分、復習内容：小児の外科的処置，外傷の処置 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義</p>	<p>*伊藤龍朗</p>
<p>第10回 6/16</p>	<p>咬合誘導</p>	<p>【授業の一般目標】 小児歯科における衛生士業務を行うために、咬合誘導について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 1. 保隙について説明できる。 2. 能動的咬合誘導を説明できる。 3. 保隙装置の定期診査を説明できる。 【準備学修項目・時間】 予習時間：30分、予習内容：咬合誘導 復習時間：30分、復習内容：咬合誘導 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義</p>	<p>*伊藤龍朗</p>
<p>第11回 6/23</p>	<p>小児の対応法 児童虐待</p>	<p>【授業の一般目標】 小児歯科における衛生士業務を行うために、小児の対応法を理解する。 【行動目標 (SB0s)】 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 1. 患児・保護者と歯科医師・歯科衛生士との関係を説明できる。 2. 診療室の小児の態度と行動を説明できる。 3. 年齢別にみた小児の行動と対応法を説明できる。 4. 歯科治療時の対応法を説明できる。 5. 障害児の歯科治療を説明できる。 6. 児童虐待を説明できる。 【準備学修項目・時間】 予習時間：30分、予習内容：小児歯科における患児との対応法，障害児の歯科治療，児童虐待 復習時間：30分、復習内容：小児歯科における患児との対応法，障害児の歯科治療，児童虐待 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義</p>	<p>*伊藤龍朗</p>

<p>第12回 6/30</p>	<p>小児期の特徴と歯科的問題点 小児歯科診療体系の流れ</p>	<p>【授業の一般目標】 小児歯科における衛生士業務を行うために、小児歯科診療体系について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 1. 小児期の特徴と歯科的問題点を説明できる。 2. 小児歯科診療とその特徴を説明できる。 3. 小児歯科治療における原則を説明できる。 【準備学修項目・時間】 予習時間：30分、予習内容：小児歯科における診療体系 復習時間：30分、復習内容：小児歯科における診療体系 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義</p>	<p>*伊藤龍朗</p>
<p>第13回 7/7</p>	<p>齲蝕予防1 I 口腔清掃指導 II 食生活指導</p>	<p>【授業の一般目標】 小児歯科における衛生士業務を行うために、齲蝕予防について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 1. 口腔清掃指導について説明できる。 2. 食生活指導について説明できる。 【準備学修項目・時間】 予習時間：30分、予習内容：プラークコントロール、食生活指導 復習時間：30分、復習内容：プラークコントロール、食生活指導 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義</p>	<p>*清水武彦</p>
<p>第14回 7/14</p>	<p>齲蝕予防2 III フッ化物の応用 IV 小窩裂溝填塞法 V 定期検診</p>	<p>【授業の一般目標】 小児歯科における衛生士業務を行うために、齲蝕予防および定期検診について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 1. フッ化物の応用を説明できる。 2. 小窩裂溝填塞法を説明できる。 3. 定期検診について説明できる。 【準備学修項目・時間】 予習時間：30分、予習内容：フッ化物の応用、小窩裂溝填塞法、定期検診 復習時間：30分、復習内容：フッ化物の応用、小窩裂溝填塞法、定期検診 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義</p>	<p>*清水武彦</p>

<p>第15回 7/21</p>	<p>まとめ</p>	<p>【授業の一般目標】 小児歯科学の全体像を把握し、小児歯科診療における歯科衛生士の役割を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 1. 小児歯科における歯科衛生士の役割について概説できる。 【準備学修項目・時間】 予習時間：60分，予習内容：第8～13回の講義内容 復習時間：60分，復習内容：第8～13回の講義内容 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義</p>	<p>*小川奈保</p>
----------------------	------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------